

身近な エコロジー Ecology

「地産地消」はフードマイレージの観点からも環境に優しい取組み。さらに土地が持つ風土に合った食物を自然に育てる「適地適作」はエネルギー消費も少なく栽培することができるため、より一層、エコロジーといえるでしょう。

■プロダクトリング株式会社

静岡県浜松市東区宮竹町327
TEL.053-424-8155
http://productoring.com



農業や漁業を活性化させ、食料自給率の向上に貢献したい！ 情報を発信し、生産者と消費者を繋げていきます

日本の食料自給率は38%と最低の水準

食料自給率とは、国内の食料消費が国産でどの程度賄えているかを示す指標です。先進国では、アメリカ130%、フランス127%、ドイツ95%、イギリス63%となっており、日本の食料自給率(カロリーベース)は38%と先進国の中で最低の水準となっています。なぜここまで衰退してしまったのでしょうか。

「農家の人の高齢化や耕作放棄問題、そして消費者の食スタイルの変化等さまざまな要因があります。私は日本の農業を何とかしたいという思いで、この会社をつくりました。私は幸福度ランキングの高い国は食料自給率も高いように感じています。ちなみに幸福度1位のデンマークの食料自給率はなんと300%です」と語るのは7年間アメリカで働いた経験をもつ山本洋士代表取締役。プロダクトリング株式会社は、農業を取り巻く現状等を生産者目線から情報発信し、個々の生産者のファンづくりに取り組んできました。

子育て世代の農業体験を企画

地元でとれる旬の食材を私たちが積極的に購入することも食料自給率の向上につながります。日照時間も長く、積雪のない温暖な土地柄から、浜松市は日本でも有数の農業生産地となっています。しかし、こうした町でも、消費者と農家とのつながりが希薄だと山本社長は話します。農業を強くするためには、消費者ひとりひとりがもっと農業について関心を高め、生産農家の現状を知ることが大切だと考え、生産者と消費者のつながりを深めるための仕掛けづくりを行ってきました。そのひとつが子育て世代の母親をターゲットにした地域密着型の農業体験の開催です。畑に入っ

て旬の野菜を収穫し、農家の生の声を聞くことで、農業を身近に感じられた、野菜への意識が高まった等と好評。子供達にとっても、土に触れ自然の中で遊べる楽しいイベントです。またスーパー等のバイヤーを対象にした生産地をめぐるツアーも開催し、野菜についての知識を深めてもらったり、店舗での効果的なポップづくりを指導する等、売る側へのコンサルティングも行っています。

第一次産業のコンサルタントとして活動

「農作物を育てるプロは、売るためのプロモーションを企画したりシステムを構築するプロではありません。私たちは販路の開拓や売り方の提案を行い、戦略的に農業経営をサポートし、農家を強くすることを使命としています」。

具体的には商品企画や商品ロゴを作成したり、パッケージをデザインしたり、農業イベントやプロモーションを企画したり、さらには商品を輸出したい生産者に海外進出のための支援を行う等、事業内容は実に多彩。静岡の第一次産業を力強く応援しています。



【静岡県西部地区の農業体験予約サイト】

浜松市を中心に子育て中の母親が地域・農業・店舗と関わり、共に取り組む姿を子ども達に見せることで、地域の発展に繋げていきます。

募集中 積極的なエコへの取り組みを教えてください。企業から個人まで、積極的にエコに取り組む様子を紹介します。(公社)浜松東法人会までご連絡ください。

TEL.053-453-4549 FAX.053-457-3729

MAIL info@hamamatsueasthojinkai.or.jp

※取材により記事を作成しています。浜松東法人会がサービス等について保証するものではありません。

掲載は無料です